

クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

日本最高峰の音楽家が贈る  
“前向き”なロマン派

クラシカル・プレイヤーズ東京(CPT)の活動が新たな段階を迎えている。CPTと共演を重ねているピアニスト仲道郁代に加え、新日本フィルなどのリーダーとして活躍する豊嶋泰嗣が、ソロ・コンサートマスターとして新たに参加。有田正広とともにロマン派の扉を叩く。

過去の音楽と向き合うとき、そこにはふたつの「型」がある。ひとつは、現在から過去の音楽の方を向く、いわば「振り返り」型。もうひとつは、過去の音楽よりもさらに過去に戻って、そこから時間の流れの通り進んでいく「前向き」型。「振り返り」型は、いま与えられている条件を最大限に活かそうとする。一方「前向き」型は、条件をいったんリセットして、条件そのものを検討する。後者は古楽と呼ばれることもある。古い音楽を懐かしむのが古楽ではない。故きを温ね、前を向き、新しきを知るのが古楽の身上だ。その意味で、19世紀の音楽を中心とした6月のプログラムは、CPTの真骨頂と言える。バッハやモーツァルト、ベートーヴェンを経て、

シューベルト、メンデルスゾーンへ。CPTの演奏史はまるごと、当時の音楽家の積んだキャリアと重なり合っている。こうした流れの結節点として、モーツァルトはとても重要な作曲家だ。18世紀の「語る音楽」の伝統を、明快な響きの中で開花させた。そんな先輩の音楽をベートーヴェンが大仕掛けにし、後輩のシューベルトにつなげる。6月の公演では《ピアノ協奏曲第23番イ長調》によって、18世紀の音楽家モーツァルトが19世紀の扉を叩いている様子をうかがい知ることができる。そのノックに呼応するのはもちろん、シューベルトの《未完成交響曲》だ。ウィーンの音楽



有田正広

家たちが耕してきた交響曲の土壌の上に咲いた不思議な花《未完成》。モーツァルト、そしてベートーヴェンからシューベルトへのパトタッチが音として響くのも、温故知新のなせる業だ。

こうした音楽史の流れを、メンデルスゾーンは演奏会で聴衆に示した。ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の楽長として、バッハの作品を取り上げ、モーツァルトをレパートリーに加え、ベートーヴェンを再評価した。シューベルトの《交響曲八長調「ザ・グレート」》は、メンデルスゾーンによって初演された。始めにおかれた序曲《夏の夜の夢》は、こうしたメンデルスゾーンの視野の広さを教えてくれる。

プログラムのこうした視座は、CPTの「前向き」な演奏でより鮮明になるだろう。今回はピアノのソリストに仲道郁代、ソロ・コンサートマスターに豊嶋泰嗣を迎える。在京オーケストラで活躍する豊嶋は、古楽の泰斗フランス・リュッヘンとの共演歴も長い。日本のクラシックシーンの屋台骨を支える音楽家の参入は、CPTの歩みにますますの力強さを加えてくれるだろう。

文：澤谷夏樹

東京芸術劇場Presents  
**クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会**  
6月21日(土) 15:00開演 コンサートホール  
※有田&仲道によるプレトークあり(14:30～)  
指揮:有田正広  
フォルテピアノ:仲道郁代  
管弦楽:クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用)  
ソロ・コンサートマスター:豊嶋泰嗣

メンデルスゾーン/『夏の夜の夢』序曲 ホ長調 op.21  
モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488  
シューベルト/交響曲第7番 口短調 D759「未完成」

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 詳細はP14へ




仲道郁代  
豊嶋泰嗣

クラシカル・プレイヤーズ東京 今後の演奏会  
2015年2月14日(土) コンサートホール  
モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K.219  
「トルコ風」(ヴァイオリン:豊嶋泰嗣)  
ベートーヴェン/交響曲第5番 短調 op.67「運命」 ほか  
発売日:2014年秋予定

芸劇ユース・ウインド・オーケストラ

東京芸術劇場と東京佼成ウインド・オーケストラが  
タッグを組み、公共ホール初の  
プロフェッショナル育成型吹奏楽団を創設!  
メンバーを募集いたします!

募集要項など詳細は、HPにて発表いたします。  
[www.geigeki.jp](http://www.geigeki.jp)

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

日本には吹奏楽の愛好者がたくさんいます。しかしながら、吹奏楽を語るときは、“強い”、“弱い”というコンクールの戦いの中で語られることがほとんど。そこで、芸劇ユース・ウインド・オーケストラでは、“強さ”では語られない、真に“美しい”吹奏楽を目指し活動を行います。

メンバーとして、プロを目指す若手演奏家を公募いたします。このプログラムでは、1年間に渡りレッスンを提供するほか、ワークショップ、アウトリーチ活動等を行い、多角的な音楽キャリアの形成を行います。プログラムの最後には、東京芸術劇場コンサートホールにて、2015年3月13日(金)、井上道義の指揮による演奏会も開催!

海外オーケストラシリーズI フランス国立リヨン管弦楽団

インタビュー ピアノ 小菅 優

初顔合わせのストラットキンと  
ラヴェルを共演!

国際舞台で大活躍中のピアニスト、小菅優が今年7月、東京芸術劇場でレナード・ストラットキン指揮フランス国立リヨン管弦楽団と共演する。ストラットキンへの期待、ラヴェルの協奏曲への思いなど、公演前の胸中を語ってもらった。

小菅優は東京音楽大学附属音楽教室に学んだのち、1993年からヨーロッパに暮らし、クラシック音楽の本場の空気の中で技術と感性を磨いてきた。国際コンクールの上位入賞を足掛かりとして世に出る若手が多い昨今、9歳でリサイタル・デビュー。その後も演奏会一本で高い評価を築いた稀有なタイプの実力派ピアニストだ。協奏曲ソリストとしては、ベルリン交響楽団、フランクフルト放送交響楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、フィンランド放送交響楽団、カメラータ・ザルツブルク、ウィーン室内管弦楽団、フランス国立管弦楽団、日本の主要オーケストラ等と共演、多くの著名指揮者のタクトを経験してきた。そんな彼女もストラットキンとは今回が初めてとなる。

「初めて共演するマエストロのときは、どんな方かな、といつもドキドキします。ストラットキンさんはとても温かそうな方ですね。きつとよい音楽と一緒に作り出していくことができ

るのではないかと考えています。」

今年古稀を迎えるストラットキンはアメリカ生まれ。1980年代にセントルイス交響楽団の音楽監督として、同団の演奏水準を一挙に引き上げた功で知られる。2011～12年のシーズンからフランス国立リヨン管弦楽団の音楽監督に就任、このフランスの地味豊かなオーケストラにアメリカのフレッシュな息吹と彼自身の練り上げた美質を注ぎ込んでいる。今回の日本公演はオール・フランス・プログラム。ラヴェルの組曲『マ・メール・ロワ』、ラヴェルのピアノ協奏曲ト長調を前半に、サン＝サーンスの交響曲第3番「オルガン付き」を後半にとりあげる。ラヴェルの協奏曲は小菅優の十八番のひとつだが、今回の共演にあたってどのようなアプローチを考えているのだろうか。

「ラヴェルは本当に興味の尽きない作曲家。実に多面的な顔を持っているからです。作品には、ジャズや古典派の語法など、いろいろな要素が入っています。子どもの頃、最



初に弾いたラヴェルのピアノ曲は『ソナチネ』でした。それから次に『クーブランの墓』。ト長調協奏曲は何度も弾いていますが、やはり共演する指揮者とオーケストラによって私の表現も異なってきます。ト長調協奏曲にはアメリカのジャズの要素が採り入れられていますけれども、それを前面に出すのか、それともフランスの洗練、あるいは粋の味わいを重視して表現するか。アメリカ人のマエストロとフランスのオーケストラの組み合わせ。そこに私が加わってどうなるか、私自身、非常に楽しみに思っています。」

演奏会の後半は、東京芸術劇場備え付けのオルガンの名器ガルニエを用いたサン＝サーンスの交響曲第3番だ。

「出番が終わっているので聴かせていただく予定です。いつも後半のオーケストラ・プログラムは客席で聴くんですよ。コンサートを聴くのもオペラやバレエを観るのも大好きで、時間があれば出かけます。先日、チャイコフスキーのピアノ協奏曲を8年ぶりに弾いたのですが、彼のバレエを観たことで、協奏曲への観方も前と変わってきました。あ、ここにもバレエの音楽が入っている、と感じる部分をたくさん発見しました。」

今回、彼女が使用する東京芸術劇場のハンブルク・スタインウェイは最近オーバーホールしたばかり。自宅でもハンブルク・スタインウェイを愛奏する小菅優。7月の演奏会ではどんな音色を引き出してくれるのか、今から期待に胸が高鳴る。

取材・構成：萩谷由喜子

海外オーケストラシリーズI  
**フランス国立リヨン管弦楽団**  
7月19日(土) 15:00開演 コンサートホール

指揮:レナード・ストラットキン  
ピアノ:小菅 優  
管弦楽:フランス国立リヨン管弦楽団

ラヴェル/組曲『マ・メール・ロワ』  
ピアノ協奏曲ト長調  
サン＝サーンス/交響曲第3番op.78「オルガン付き」  
(オルガン:石丸山佳)

S席12,000円 A席8,000円 B席6,000円  
C席5,000円 D席3,000円 \*SS席14,000円  
お申込先:東京芸術劇場ボックスオフィス  
TEL 0570-010-296  
[休館日を除く10:00-19:00]

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

★海外オーケストラシリーズII  
**モントリオール交響楽団**  
2014年10月10日(金) 19:00開演  
コンサートホール  
指揮:ケント・ナガノ ヴァイオリン:五嶋 龍  
管弦楽:モントリオール交響楽団

ドビュッシー/交響詩『海』  
ストラヴィンスキー/ヴァイオリン協奏曲 二長調  
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)/組曲『展覧会の絵』  
発売日:4月22日(火)  
S席18,000円 A席13,000円 B席9,000円  
C席5,000円 D席3,000円 \*SS席22,000円

★海外オーケストラシリーズIII  
**フィルハーモニア管弦楽団**  
2015年3月7日(土) 14:00開演  
コンサートホール  
指揮:エサベッカ・サロネン ヴァイオリン:ヒラリー・ハーン  
管弦楽:フィルハーモニア管弦楽団

ブラームス/ヴァイオリン協奏曲  
ベートーヴェン/交響曲第3番 変ホ長調『英雄』  
発売日:2014年秋予定

芸劇提携事業 **アルド・チッコリーニ ピアノ・リサイタル**  
 6月18日(水) 19:00開演 コンサートホール 詳細はP13へ



ブラームス／4つのバラードOp.10  
 グリーグ／ピアノ・ソナタOp.7  
 ボロディン／小組曲  
 カステルヌオーヴォ＝テデスコ／  
 ビェディグロッタ1924 ナポリ狂詩曲

**必聴!賢人の言葉に匹敵する名匠の演奏**

1925年にイタリアのナポリで生まれ、現在もなお88歳でみずみずしい音楽を聴かせてくれるピアニスト、アルド・チッコリーニ。たび重なる来日公演でも深みのある音楽を披露し、古からのファンはもちろん若い世代の聴衆にも感銘を与えてきた名匠だ。最近では、約40年間にわたる録音の数々がCDボックスとして発売され、さらに新しいファンを増やしている。長い時間を経た熟成の度合いは、ワインなどを引き合いに出すまでもなく音楽家も同様。それだけに今年の来日公演にも、大きな期待が寄せられているのだ。

今回は、幅広いレパートリーから選ばれた特別なプログラム。これまでチッコリーニを聴き続けてきたファンにとっても、このバラエティに富んだ選曲は新鮮だろう。最初に演奏されるブラームスの「4つのバラード」は、その豊か

な詩情によって感動への扉を開く。若きグリーグによるソナタは、彼自身の生真面目さや決意が感じられる意欲作だ。後半はロシアの作曲家ボロディンによる絵葉書のような小品集「小組曲」と、チッコリーニが多くのピアノ曲を録音しているカステルヌオーヴォ＝テデスコの作品を演奏。20世紀イタリアの抒情派と言える作曲家であり、チッコリーニの生まれ故郷をモチーフにした「ビェディグロッタ 1924 ナポリ狂詩曲」(しかも作曲年はチッコリーニの誕生と同時期)は、郷愁と感慨をもってホールに鳴り響くだろう。

音のひとつひとつに純度の高い言葉が乗っているような演奏は、コンサートホールの空気を静謐にさせ、まるで老師の講話を聴くような佇まいさえ生み出してしまう。今回も、記憶に残るチッコリーニ体験が約束されるだろう。

主催:テレビ朝日/藍インターナショナル  
 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇提携事業 **ザ・フィルハーモニクス**  
 6月20日(金) 19:00開演 コンサートホール 詳細はP14へ



ピアソラ／リベルタンゴ  
 プロコフィエフ／ロミオとジュリエット  
 クライスラー／美しきロスマリン  
 ブラームス／ハンガリー舞曲第5番  
 リムスキー＝コルサコフ／くまばちの飛行  
 C.コリア／スペイン ほか

**ウィーンも熱狂中の“華麗なる7人”が登場**

これまでも数多くのアンサンブルが楽団内で生まれ、私たちを楽しませてきたウィーン・フィルハーモニー管弦楽団。楽員が中心となって2007年に結成されたザ・フィルハーモニクスは、その名前に自信と誇りが現れている注目のグループだ。ウィーンでもっとも注目され、「華麗なる7人」という異名が光輝いている七重奏である。

メンバーはリーダーであるティボール・コヴァーチ(ウィーン・フィルの首席第2ヴァイオリン奏者)をはじめ、ウィーン・フィルとベルリン・フィルに在籍する弦楽器奏者が4人。そして、ロマ(ジプシー)音楽の英雄となったラカトシュのアンサンブルで演奏しているフランティシェク&ローマン・ヤーノシュカ兄弟、クラリネット・ファミリーの一翼を担うダニエル・オツテンザマー。それぞれがハイ・クオリティの演奏技術でアンサンブルを支え、7人ならではの

エンタテインメントを作り出す。レパートリーは、ウィーンっ子のシューベルトやヨハン・シュトラウス2世、そしてクライスラーの音楽ほかクラシックの名曲たち。ロマ音楽の影響を受けたブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」なども、彼らならではの演奏が期待できるだろう。さらにはクラシック音楽シーンにもファンが多いチック・コリアの名作「スペイン」や、アストル・ピアソラの「リベルタンゴ」、そしてメンバーによるオリジナル曲「K&Kラブソニー」などが加わる。

柔軟かつ縦横無尽、それでいて芳醇な音楽の魅力あふれる演奏だけに、そのステージが生き生きとしていて楽しいのは当然。来日公演の盛り上がりを感じさせる“世界最速の「くまばちの飛行」”も、大きな話題になることは間違いない。

主催:ジャパン・アーツ  
 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
 協力:ユニバーサル ミュージック  
 後援:オーストリア大使館/オーストリア政府観光局/ウィーン在日代表部

2014年度 東京芸術劇場 音楽年間ラインナップ Concert Hall



**Orchestra**

東京芸術劇場Presents  
**クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会**

指揮:有田正広 管弦楽:クラシカル・プレイヤーズ東京  
 2014年6月21日(土)15:00開演  
 メンデルスゾーン/『夏の夜の夢』序曲ホ長調Op.21  
 モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488  
 (フォルテピアノ:仲道郁代)  
 シューベルト/交響曲第7番短調D759「未完成」

2015年2月14日(土)  
 モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調K.219  
 「トルコ風」(ヴァイオリン:豊嶋泰嗣)  
 ベートーヴェン/交響曲第5番短調Op.67「運命」 ほか  
**【全席指定】S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円**

**2014-2015 海外オーケストラシリーズ**

2014年7月19日(土)15:00開演  
**フランス国立リヨン管弦楽団**  
 指揮:レナード・スラットキン  
 ピアノ:小菅 優  
 管弦楽:フランス国立リヨン管弦楽団  
 ラヴェル/組曲『マ・メール・ロフ』、ピアノ協奏曲ト長調  
 サン＝サーンス/交響曲第3番Op.78「オルガン付き」  
 (オルガン:石丸由佳)  
**【全席指定】S席12,000円 A席8,000円 B席6,000円  
 C席5,000円 D席3,000円 \*SS席14,000円**

2014年10月10日(金)19:00開演  
**モンリオール交響楽団**  
 指揮:ケント・ナガノ  
 ヴァイオリン:五嶋 龍 管弦楽:モンリオール交響楽団  
 ドビュッシー/交響詩『海』  
 ストラヴィンスキー/ヴァイオリン協奏曲二長調  
 ムソルグスキー(ラヴェル編曲)/組曲『展覧会の絵』  
**【全席指定】S席18,000円 A席13,000円 B席9,000円  
 C席5,000円 D席3,000円 \*SS席22,000円**

2015年3月7日(土)14:00開演  
**フィルハーモニア管弦楽団**  
 指揮:エサ＝ベッカ・サロネン  
 ヴァイオリン:ヒラリー・ハーン  
 管弦楽:フィルハーモニア管弦楽団  
 ブラームス/ヴァイオリン協奏曲  
 ベートーヴェン/交響曲第3番変ホ長調『英雄』

**世界のマエストロシリーズvol.2**

2014年10月30日(木)  
**ラドミル・エリシュカ & 読売日本交響楽団**  
 指揮:ラドミル・エリシュカ  
 管弦楽:読売日本交響楽団  
 ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」 他

東京芸術劇場&ミュンヘン・フィルハーモニーホール共同企画  
**第5回音楽大学  
 オーケストラ・フェスティバル2014**

2014年11月16日(日)15:00開演  
**昭和音楽大学&東京芸術大学**  
 ミュンヘン・フィルハーモニーホール

2014年11月24日(月・祝)15:00開演  
**上野学園大学&洗足学園音楽大学  
 &武蔵野音楽大学**  
 ミュンヘン・フィルハーモニーホール

2014年12月6日(土)15:00開演  
**国立音楽大学&桐朋学園大学**  
 東京芸術劇場コンサートホール

2014年12月7日(日)15:00開演  
**東京音楽大学&東邦音楽大学**  
 東京芸術劇場コンサートホール  
**【全席指定】1回券1,000円 通し券3,000円**

**第4回音楽大学  
 フェスティバル・オーケストラ**

指揮:ユベール・スダーン  
 管弦楽:音楽大学フェスティバル・オーケストラ  
 (首都圏9音楽大学選抜オーケストラ)

2015年3月28日(土)  
 ミュンヘン・フィルハーモニーホール

2015年3月29日(日)  
 東京芸術劇場コンサートホール  
**【全席指定】S席2,000円 A席1,500円**

**Opera**

東京芸術劇場コンサートオペラvol.2  
**ヴェルディ/歌劇「ドン・カルロス」**  
 フランス語、パリ初演版全幕(日本初演)

2014年9月6日(土)  
 指揮:佐藤正浩  
 ドン・カルロス:佐野成宏 エリザベート:浜田理恵  
 フィリッポ2世:カルロ・コロンバ  
 ロドリグ:堀内康雄  
 エボリ公女:小山由美 宗教裁判長:妻尾秀和  
 修道士:ジョン・ハオ テバルド:鷲尾麻衣  
 天の声:佐藤美枝子 レルバ伯爵:ジョージ・ゴティエ  
 管弦楽:ザ・オペラ・バンド(在京プロオケメンバーで結成)  
 コーラス:武蔵野音楽大学

東京芸術劇場シアターオペラvol.8  
**レハール/喜歌劇『メリー・ウィドウ』**

2015年2月22日(日)

**Brass**

★東京芸術劇場Presents  
**プラスウィーク2014**

2014年9月21日(日)  
 シエナ・ウインド・オーケストラ

2014年9月28日(日)  
**東京佼成ウインド・オーケストラ**

2014年10月18日(土)  
**東京吹奏楽団**

2014年10月12日(日)  
**バンドクリニック  
 『中・高生のための楽しい吹奏楽』**

**Organ**

**パイプオルガンコンサートVol.18**

2014年12月16日(火)19:00開演  
 ホルン:ラテク・バボラーク  
 オルガン:アレシユ・バルタ

**ランチタイム・パイプオルガンコンサート**

各回 12:15開演 ※12:45終演予定  
 2014年5月22日(木) オルガン:オクタヴィアン・ソニエ  
 2014年7月17日(木) オルガン:堀切麻里子  
 2014年9月18日(木) オルガン:平井靖子  
 2014年11月20日(木) オルガン:川越聡子  
 2015年1月15日(木) オルガン:中田恵子  
 2015年3月12日(木) オルガン:新山恵理  
**【全席自由】500円**

**ナイトタイム・パイプオルガンコンサート**

各回 19:30開演 ※20:30終演予定  
 2014年4月17日(木) オルガン:岩崎真実子  
 声明:真言宗智山派 観照会  
 2014年6月12日(木) オルガン:早島万紀子  
 2014年8月28日(木) オルガン:小林英之  
 フルート:三上明子  
 2014年10月16日(木) 未定  
 2015年2月12日(木) 未定  
**【全席指定】1,000円**

**Family**

芸劇&読響  
**0才から聴こう!! 春休みふれあいコンサート**  
 2015年3月30日(月)

**Chamber music at Entrance**

**クラシカル・プレイヤーズ東京  
 室内楽 演奏会**

2014年11月20日(木)19:00開演  
**〈フルート・トリオ〉**  
 2015年1月8日(木)19:00開演  
**〈弦楽四重奏〉**  
**【全席自由】2,000円(座席数150席予定)  
 コンサートホール・エントランス(5階)**

**Consociate**

**アルド・チッコリーニ ピアノ・リサイタル**

2014年6月18日(水)19:00開演  
**【全席指定】S席8,500円 A席7,000円 B席5,500円**  
 主催:テレビ朝日/藍インターナショナル

**ザ・フィルハーモニクス**

2014年6月20日(金)19:00開演  
**【全席指定】6,500円**  
 主催:ジャパン・アーツ

**前橋汀子 デイライト・コンサート**

2014年10月14日(火)11:30開演  
**【全席指定】2,000円**  
 主催:KAJIMOTO